

2018年

4月21日 土

開場 13:30 / 開演 14:00

[会場] 関西学院大学
西宮上ヶ原キャンパス
B号館 103 教室 (定員 200人)

※一般の方々の聴講も歓迎します。
どなたでもお気軽にご参加下さい。

参加費
無料
申込不要

事実や真実が軽視される時代において、

「ことば」にはどのような可能性が残されているのだろうか。

「ことば」を立ち上げ、

それを伝える本づくりや出版という事業には、

どのような役割があるのだろうか。

いま、ことばを立ち上げる

関西学院大学出版会

設立20周年記念シンポジウム



林 香里 ジャーナリズム
マスメディア研究



細見和之 ドイツ思想



石井伸介 編集/出版



細川周平 音楽文化史
日系デジタル文化史

◎ シンポジウム プログラム ◎

開会挨拶・講師紹介

発題 1 言葉はなぜ立ち上がらないのか？
——「メディア不信」と日本社会の行方
林 香里 (東京大学教授)

発題 2 生きる糧になる言葉をもとめて
——大阪文学学校の校長として
細見和之 (京都大学教授)

発題 3 「あたりまえのこと」ほど伝わらない
石井伸介 (苦楽堂社長)

発題 4 ブラジルで書く日本語 —— 松井太郎の場合
細川周平 (国際日本文化研究センター教授)

パネル 討論 いま、ことばを立ち上げること
パネリスト
林 香里 / 細見和之 / 石井伸介 / 細川周平
コーディネーター
田村和彦 (関西学院大学出版会編集長・国際学部教授)

※17:30 終了予定

[主催]

関西学院大学出版会

[後援]

関西学院大学・関西学院大学生協同組合



[問合せ先]

0798-53-7002

西宮市上ヶ原一番町 1-155
kwansei-up@kgup.jp

[会場アクセス]
阪急甲東園駅から
徒歩(15分)または
阪急バス02番のりば
関西学院前下車(5分)
正門から徒歩5分

